

共同研究集会 「極値理論の工学への応用」

日程：2013年12月6日（金）13:30～17:15, 12月7日（土）10:00～16:30

場所：統計数理研究所 3F セミナー室5（〒190-8562 東京都立川市緑町10-3）

これは、文部科学省「数学・数理科学と諸科学・産業との連携研究ワークショップ」として開催しています。

12月6日（金）

13:30 開会挨拶 北野 利一

13:35-14:20 神田 順（日本大学 理工学部）

津波波高の極値分布モデルと防潮堤の費用対効果の評価

14:20-15:05 渋谷 政昭（慶應義塾大学 名誉教授）・高橋 倫也（神戸大学 名誉教授）

津波マグニチュードデータの解析

15:05-15:20 休憩 ★注

15:20-16:05 田中茂信（京都大学 防災研究所 水資源環境研究センター）

2013 台風 18 号の洪水災害の外力評価

16:05-16:30 西郷 達彦（山梨大学 医学工学総合研究部）

弱い従属性の下での極値分布

16:30-17:15 志村 隆彰（統計数理研究所）

極小値の数値的特徴

18:10-20:40 懇親会 （エノテカキャンティーン立川, <http://www.yz-dining.jp/enoteca/>)

12月7日（土）

10:00-10:45 清 智也（慶應義塾大学 理工学部 数理科学科）

不均衡データに対する二項回帰モデルの挙動

10:45-11:30 渋谷 政昭（慶應義塾大学 名誉教授）

極値統計とモニター・システム

11:30-13:00 昼食休憩 ★注

13:00-14:00 藤部 文昭（気象研究所 環境・応用気象研究部）

招待講演： 気象における統計とその問題点

14:00-14:15 休憩

14:15-15:00 北野 利一（名古屋工業大学 社会工学専攻）

極値統計解析における上端の推定について

15:00-15:45 宝 馨（京都大学 防災研究所）

極値の頻度解析に上限値を導入することについて

15:45- 話題提供（ショートコミュニケーション）

研究会打ち合せ（次年度の企画案など）

進行：北野 利一

研究レポートの提出にあたって

志村 隆彰